

H30年度評価 保健事業実施状況

	達成できた	おおむね達成できた	達成できなかった	未実施
総合評価	A	B	C	D

●特定健康診査及び特定保健指導

特定健康診査受診率							特定保健指導実施率				
	27年度	28年度	29年度		30年度			27年度	28年度	29年度	30年度
			全年齢	40・50歳代	全年齢	40・50歳代					
津山市	27.3%	29.2%	27.8%	15.3%	27.9% (暫定値)	16.4% (暫定値)	津山市	11.2%	15.8%	16.2%	18.9% (暫定値)
岡山県平均	28.7%	28.9%	29.5%		—		岡山県平均	13.3%	12.6%	13.2%	—
全国平均	36.3%	36.6%	37.2%		—		全国平均	25.1%	26.3%	26.9%	—
アウトカム 目標(成果)	◇計画に定める受診率等の達成 ◇40歳代、50歳代の受診率の向上				35.0%	向上	アウトカム 目標(成果)	◇計画に定める実施率の達成			35.0%

国・県データ出典：国民健康保険中央会 特定健康診査等実施状況データ

(1) 特定健康診査及び特定保健指導(アウトカム評価)

事業	実施内容	評価・見直し
特定健康診査	受診者：4,102人(暫定値) ・医療機関：2,858人(前年比-376人) ・集団：1,127人(前年比+285人) ・データ提供：117人(前年比+30人)	C 昨年度より受診率は微増したが、目標には達していない。 40・50歳代の受診率は前年度と比較して向上した。 集団健診受診者数とデータ提供者数が増加した。
特定保健指導	指導対象者：445人(前年比-37人) 指導終了者：84人(前年比+13人) ・実施医療機関：15か所(内当日実施：3か所) ・保健指導の実施：面談、電話、手紙	C BMIや腹囲が改善し対象者が減少したため、指導実施率が向上したが、目標には達していない。 健診を受診した同日に特定保健指導を実施する医療機関を増やす。

(2) 特定健康診査及び特定保健指導(アウトプット評価)

事業 / 目標 ◆アウトプット(実施量)	実施内容 ◆アウトプット実績	評価 / 見直し	
特定健診(簡易版) ◆受診者数 140名/年	・公民館や商業施設等5か所で実施 ◆受診者数 155名(15~55名/回)	A	簡易に安価で受けられる簡易版特定健診の受診者数は目標を上回った。場所によって受診者数のバラツキが見られたため、周知の仕方や場所の検討などを行う。
ナイター健診 ◆受診者数 70名/年	・2回(11月、1月)実施:17:00受付 ◆受診者数 149名(内特定健診:30名)	C	ナイター健診は好評だったが、がん検診の受診者が多く、特定健診は想定の数以下だった。
未受診者対策 ◆受診対象者勧奨率 100% ◆新規受診対象者勧奨率 100%	・院庄と高野地区へ訪問:333件 会えた人:本人79名、家族70名 不在者のうち電話:85名 ・未受診勧奨ハガキ:市内全域対象 11月、1月に1万通送付 ◆勧奨率(ハガキ勧奨のみ) 94.3% ・新規加入者への受診勧奨 ◆勧奨率 100%	B	院庄地区(訪問初年度)の受診者はH29年度を上回ったが高野地区(訪問2年目)は下回った。地区への訪問は初年度は受診率が上がり、2年目は下がる傾向にあり、R元年度は新たな地区で取り組みを行う予定。また、2・3年に1回等の未受診者や前年度に各事業指導対象だった未受診者などターゲットを決めて電話勧奨や勧奨ハガキを送付した。
データ提供 ◆提供数 210件/年	・医療機関、被保険者からの健診(検査)データ提供 ・治療中の方も対象と広報掲載 ・昨年度提供者へ電話で提供勧奨 ◆提供数 117件(前年比+30人)	C	昨年度よりデータ提供数は増加したが、目標には達していない。今後も、医師会への協力依頼を行い、治療中の方への周知や働きかけを継続して行う。
人間ドック補助 新規 ◆人間ドック補助制度の実施	・人間ドック受診者に受診費用の一部を助成 ◆H31年度から実施	A	津山市第5次総合計画中期実施計画主要事業として令和元年度創設され実施。
特定保健指導 ◆利用勧奨率 100%	・封書による利用勧奨 ・電話による利用勧奨 ◆利用勧奨率 100%	A	封書による利用勧奨を行い、さらに電話勧奨を行った。

(3) 保健事業評価

事業 / 目標		実施内容	評価 / 見直し	
◇アウトカム(成果) ◆アウトプット(実施量)		◇アウトカム成果 ◆アウトプット実績		
生活習慣病対策	糖尿病予防教室 ◇年4回実施 参加者数 20名/回 ◆基準を超える被保険者全員に利用勧奨率 100%	・自ら数値をコントロールできるように、集団指導(ヘルスアップ教室)を実施 ・保健師、管理栄養士の話、ノルディックウォークの体験 ◇年4回(10月、12月、3月、4月)実施 参加者数 128名(平均32名/回) ◆対象者への利用勧奨率 100%	A	開催時期によりバラツキはあるが、平均すると目標を上回る参加者数となった。参加者アンケートの回答では、毎回好評を得ており、それぞれが生活改善のための目標を決められている。 糖代謝の指標であるHbA1cの基準を超える被保険者全員へ案内を送り、さらに電話勧奨を行っている。今後も自ら参加したいと思えるような案内ハガキの工夫を行う。
	糖尿病性腎症重症化予防 ◇指導完了率 100% 検査値の維持・改善 ◆基準を超える被保険者全員に利用勧奨 指導実施者数 10名/年	・人工透析遅延等に向け、保健指導を実施 ・事業終了後、半年に1回フォロー(27名) ◇指導完了率 100% 検査結果の値については、若干の改善がみられる ◆対象者への利用勧奨実施 指導実施者数 21名	A	昨年度の指導実施者数は目標を大きく上回った。 H27年度からの指導実施者が累積48名となった。指導完了後、人工透析を開始した者は現時点でいない。 現在は外部委託により保健指導を実施しているが、今後直営で実施できるよう職員を重症化予防指導員に養成する。
	慢性腎臓病対策 新規 ◇保健指導実施率 60% ◆対象者全員に保健指導利用勧奨、受診勧奨	・健診で要医療値かつ未受診者に対して、医療受診勧奨を電話や通知等で実施、腎疾患の受診結果がわかるしくみ作りについて検討 ◇保健指導実施率 69.4% ◆対象者全員に保健指導利用勧奨・受診勧奨実施	A	健診の検査結果から要医療値で内科受診をしていない方へ、受診勧奨を行っている。腎機能だけでなく、慢性腎臓病に影響する血圧や脂質代謝、糖代謝などの数値に対しても受診勧奨を行った。 慢性腎臓病に関しては、国保連からのデータから受診したかどうか分かりにくいことから、受診結果がわかるしくみについて、検討を行っている。

事業 / 目標 ◇アウトカム(成果) ◆アウトプット(実施量)	実施内容 ◇アウトカム成果 ◆アウトプット実績	評価 / 見直し	
重複・頻回受診指導 ◇保健指導実施率 60% ◆対象者へリーフレット等の送付 100%	・対象者の動向を見ながら、必要な方へ訪問し健康相談や保健指導を実施 ・対象者を重複・頻回受診の他、多剤処方についても追加 ◇保健指導実施率 83.3% ◆対象者へリーフレット等の送付 83.3% 重複頻回保健指導対象者：6名 保健指導実施：5名	A	同一疾患で複数医療機関への重複受診や頻回受診など、長期にわたっている方に対して、心身の状態や生活状況を把握した。 H30.11月からは同一薬効の医薬品を重複して処方されている方についても確認を行っている。 健康状態が不良な方や複雑な生育歴、家族関係などある場合も多く、リーフレットは会えた人のみ説明とともに手渡した。今後も根気強く傾聴し保健指導をしていく必要がある。
医療費通知 ◇医療費水準を県水準(1.114) <small>※全国の医療費指数を1とした場合の医療費指数</small> ◆医療機関を受診した全被保険者世帯へ送付 4回/年	・被保険者に自身の医療費を把握してもらうため、医療費10割記載の通知を送付 ◇県 1.105 津山市 1.146 ◆対象世帯へ6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月)送付 送付件数:61,649件	B	前年の医療費水準(1.168)よりは下がったが、県水準と比較するとやや高い状況である。 医療機関を受診した全被保険者世帯へ送付している。
ジェネリック差額通知 ◇ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80% ◆対象者への通知率 100%	・ジェネリック医薬品へ切り替えた場合の軽減額を送付 ◇普及率(数量ベース) 69.1%(前年比+6.9%) ◆対象者への通知率 100%(6月、10月、2月送付)	C	後発医薬品の理解と使用促進に向けて広報紙で周知を行い、保険証更新時に後発医薬品希望シールを同封している。 計画の数量シェア最終目標80%としてはまだ達成していないが年々向上している。
健康ポイント 新規 ◇参加率 20% ◆健康ポイント制度の実施	・R3年度実施に向け、調査研究を行った	C	市が主催又は関係する事業へ参加した方に対するインセンティブの付与について、被保険者だけでなく幅広い対象者へと再検討を行うこととなったため、R3年度実施に向けて、調査や研究を行っていく。